

**殺虫殺菌剤**

**稲大将<sup>®</sup> 箱粒剤**

オキサゾスルフィル……………2.0%  
 インチアニル……………2.0%  
 インビルフルキサム……………2.0%

種類名／オキサゾスルフィル・インチアニル・  
 インビルフルキサム粒剤  
 農林水産省登録／第24616号  
 毒性／普通物\*  
 有効年限／5年  
 包装／1kg×12、10kg、  
 40kg(受注生産の担い手直送規格)

**特 長**

- 3成分で水稻の主要病害虫と細菌性病害の防除が可能です。
- 新規殺虫成分が幅広い害虫・既存の殺虫剤に抵抗性を持つ害虫にも高い効果を示します。
- 新規殺菌成分が紋枯病に高い効果を示します。
- は種時から移植当日まで使用可能です。

**適用病害虫と使用法**

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名        | 適用病害虫名  | 使用量  | 使用時期                  | 総使用回数*   | 使用方法               |
|------------|---|--|-----------------------|--|--------------------|
| 稲<br>(箱育苗) | 苗立枯細菌病<br>苗腐敗症<br>(もみ枯細菌病菌)   | 育苗箱<br>〔30×60×3cm、<br>使用土壌約5ℓ〕<br>1箱当り50g<br><br>高密度に<br>は種する場合は<br>1kg/10a<br>〔育苗箱<br>(30×60×3cm、<br>使用土壌約5ℓ)〕<br>1箱当り<br>50～100g | は種時<br>(覆土前)          | 本剤 1回<br>オキサゾスルフィル剤 1回<br>インチアニル剤 3回   | 育苗箱の上から<br>均一に散布する |
|            | イネミズソウムシ<br>イネドロオイムシ<br>ウンカ類<br>ツマグロヨコバイ<br>ニカメイチュウ<br>フタオビコヤガ<br>イネツトムシ<br>コブノメイガ<br>イナゴ類<br>いもち病<br>白菜枯病<br>もみ枯細菌病<br>穂枯れ<br>(ごま葉枯病菌)<br>内穎褐変病<br>紋枯病 | 育苗箱<br>〔30×60×3cm、<br>使用土壌約5ℓ〕<br>1箱当り50g<br><br>高密度に<br>は種する場合は<br>1kg/10a<br>〔育苗箱<br>(30×60×3cm、<br>使用土壌約5ℓ)〕<br>1箱当り<br>50～100g | は種時<br>(覆土前)<br>～移植当日 | 〔移植時までの処理は1回、<br>本田では2回〕<br>インビルフルキサム剤 1回  |                    |
| 稲          | いもち病<br>紋枯病   | 1kg/10a  | 移植時                   | 本剤 1回<br>オキサゾスルフィル剤 1回<br>インチアニル剤 3回<br>〔直播での場合は種時又は移植<br>時までの処理は1回、本田<br>では2回〕<br>インビルフルキサム剤 1回 | 側条施用               |

**使用にあたって**

**■使用上の注意**

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。

- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの葉量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### ■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意してください。

#### ■水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

#### ■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。



- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

#### ■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。